

診療科(講座)紹介

- 1) 喉頭・気管の再生医療に関する研究と臨床応用、小児難聴のスクリーニングと原因検索・発症予防に関する研究を行っています。
- 2) 臨床面では鼓室形成術や人工内耳など耳科学領域、鼻内内視鏡手術を中心とした鼻科学領域に加え、がんセンターを有さない福島県における頭頸部癌の集学的治療などを幅広く行っています。
- 3) 音声外来を開設し、音声障害の診断・評価と日帰り～短期入院の音声外科手術を導入しています。

指導医(スタッフ)紹介



部長(教授)
大森 孝一

灘高等学校卒業
京都大学医学部卒業
京都大学大学院医学研究科修了
臨床専門分野
1) 喉頭・気管領域の外科治療
2) 音声障害の診断と治療
3) 頭頸部外科
研究分野
1) 再生医学・医療(気道組織再生)
厚生労働省ヒトゲノム・再生医療等研究事業(平成16-18年度)主任研究者
2) 小児難聴(サイトメガロウイルスによる聴覚障害)
厚生労働省感覚器障害研究事業(平成16-18年度)主任研究者

学会活動

- 1) Triological Society 会員
- 2) American Laryngological Association 会員
- 3) American Broncho-Esophagological Association 会員
- 4) American Academy of Otolaryngology-Head & Neck Surgery 会員
- 5) 日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会 会長
- 6) 日本耳鼻咽喉科学会 評議員
- 7) 日本喉頭科学会 理事
- 8) 日本気管食道科学会 理事
- 9) 日本頭頸部外科学会 評議員
- 10) アメリカ喉頭科学会若手研究者賞受賞(1995)
- 11) アメリカ気管食道科学会Steven D. Gray賞二席 共同受賞(2005)
- 12) 国際学術誌編集委員 Laryngoscope



副部長(准教授)
小川 洋

福島県立安積高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
医学博士(福島県立医科大学)
臨床専門分野
1) 中耳手術
2) 人工内耳
3) 鼻副鼻腔手術
研究分野
1) ウイルス性難聴
2) 側頭骨画像診断



助教 松井 隆道

福島県立福島高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
福島県立医科大学大学院医学研究科修了
臨床専門分野
1) 中耳手術
2) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
3) 頭頸部悪性腫瘍の動注療法
研究分野
1) 頭頸部悪性腫瘍の動注療法
2) 機能温存手術の開発と臨床応用



講師 松塚 崇

福島県立安積高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
医学博士(福島県立医科大学)
臨床専門分野
1) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
2) 甲状腺外科学
3) めまい患者の診断と治療
研究分野
1) 頭頸部領域のセンチネルリンパ節検出
2) 頭頸部領域におけるリンパ流



助教 三浦 智広

福島県立福島高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
福島県立医科大学大学院医学研究科修了
臨床専門分野
1) 鼻副鼻腔疾患の診断と治療
2) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
3) 嚥下障害の診断
研究分野
1) 側頭骨病理
2) 頭頸部領域のセンチネルリンパ節検出



講師 多田 靖宏

山形県立山形東高等学校卒業
杏林大学医学部卒業
臨床専門分野
1) 音声障害の診断と治療
2) 副鼻腔炎に対する内視鏡手術
3) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
研究分野
1) 気管食道領域における再生医学
2) 耳鼻咽喉科領域における微小な炎症の関与



助教 鈴木 政博

福島県立福島高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
臨床専門分野
1) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
2) 甲状腺外科
3) 頸部超音波による診断
研究分野
1) 頭頸部悪性腫瘍の臨床統計
2) 脂肪由来幹細胞による再生医学



学内講師 横山 秀二

福島県立会津高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
福島県立医科大学大学院医学研究科修了
臨床専門分野
1) 嚥下障害の診断と治療
2) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
3) 逆流性食道炎の診断
研究分野
1) 誤嚥防止手術の開発と臨床応用
2) 唾液腺組織の再生医学



助教 野本 幸男

千葉県立佐倉高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
福島県立医科大学大学院医学研究科修了
臨床専門分野
1) 中耳手術
2) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
3) 頭頸部悪性腫瘍の動注療法
研究分野
1) 気道の再生医学
2) 頭頸部悪性腫瘍の動注療法



助教 國井 美羽

福島県立安積女子高等学校卒業
福島県立医科大学卒業
臨床専門分野

- 1) 頭頸部悪性腫瘍の診断と治療
- 2) 睡眠時無呼吸症候群の診断と治療

研究分野

- 1) hs-CRPを用いた顔面神経麻痺の予後診断
- 2) IgA腎症における扁桃摘出術の効果について

後期研修(専門医養成コース)プログラム

	修得すべき手技や手術経験目標数など
1年次 (卒業3年)	額帯鏡・顕微鏡・内視鏡による局所観察、頭頸部の触診、生理・画像検査の理解、救急疾患の初期治療の実践、鼓膜切開術(10)、鼓室ドレン留置術(5)、扁桃周囲膿瘍切開排膿術(5)、鼻出血止血術(10)
2年次	指導医とともに外来患者の診療を行う。指導医とともに入院患者の治療計画を立案し実施する。1年次に加え、口蓋扁桃摘出術(20)、咽喉頭生検術(50)、内視鏡下副鼻腔手術(5)、喉頭微細手術(5)、頸部良性腫瘍手術(5)、頸部郭清術(5)、気管切開術(10)
3年次	指導医とともに外来患者の診療を行う。指導医とともに入院患者の治療計画を立案し実施する。2年次に加え、乳突洞削開術(5)、唾液腺良性腫瘍摘出術(5)、甲状腺良性腫瘍摘出術(5)
4年次	指導医とともに外来患者の診療を行う。指導医とともに入院患者の治療計画を立案し実施する。3年次に加え、鼓室形成術(10)、内視鏡下副鼻腔手術(20)、頭頸部悪性腫瘍手術(5)

大学院・留学について

「喉頭・気管・声帯」に関する再生医療の基礎的・臨床的研究で、京都大学再生医科学研究所と本学細胞統合生理学講座および附属研究所細胞科学研究部門などとともに動物実験、細胞培養、蛍光免疫染色などの実験が行われています。

また、微生物学講座と先天性サイトメガロウイルス感染による聴覚障害に関する研究に取り組んでいます。

留学についてはこれまで ハーバード大学、ピッツバーグ大学、ジョンズホプキンス大学、南イリノイ大学への海外留学の実績と、筑波大学、癌研究会附属病院、愛知県がんセンターへの国内留学の実績があります。

専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標

日本耳鼻咽喉科学会専門医認定試験制度より

- 1) 日本国の医師免許を有する者。
- 2) 連続して3年以上、日本耳鼻咽喉科学会の正会員である者。
- 3) 日本耳鼻咽喉科学会が基準に基づいて認可した耳鼻咽喉科専門医研修施設において、研修カリキュラムに従い臨床研修終了後4年以上の専門領域研修(そのうち3年以上は耳鼻咽喉科専門医研修施設における研修でなければならない)を修了した者。

後期研修協力病院

	関連病院名	所在地	指導医名	職名
1	太田西ノ内病院	郡山市	佐藤 和則	部長
2	寿泉堂総合病院	郡山市	山辺 習	部長
3	大原総合病院	福島市	高取 隆	部長
4	公立藤田総合病院	国見町	宗田 由美	科長

指導医からのメッセージ

福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座の研究は再生医学、ウイルス性難聴の研究など多岐にわたり、かつ最先端の研究を行っています。

診療においては耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の、様々な先進的かつ専門性の高い医療を展開しています。再生医学的なアプローチでの気道の再建や発声障害に対する低侵襲な音声外科手術、難聴に対する人工内耳や鼓室形成術、悪性腫瘍に対する動注化学療法やセンチネルリンパ節の検出などの臨床研究を行っています。

このような高度先進医療を行う一方で、大学病院や関連医療施設で扱う疾患は耳鼻咽喉科領域全般を広く網羅しており、地域に根ざした第一線の医療も実践しています。

医学部学生教育は4年生時の系統講義、5年生時のプライマリーのベッドサイドラーニング(BSL)と、6年生時には耳鼻咽喉科を選択した学生が4名ずつ臨床実習をするアドバンストのBSLで構成されています。アドバンストのBSLでは関連病院での実習も行われています。

卒後の初期研修にはより幅広い耳鼻咽喉科診療の理解を目指しています。本学において耳鼻咽喉科は1年目に外科研修で1~3ヶ月間、2年目に選択研修で2~8ヶ月間の研修ができ、限られた期間でポイントを絞った研修課題を習得できるようにプログラムを組んでいます。

後期臨床研修は耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門医の養成を目的としています。早い時期より担当医として病棟患者を受け持ち、指導医とともに診療計画を立て検査や手術を行う方針とし、実践型のトレーニングとしてCTのバーチャル3次元画像や模型を使用した手術・検査手技の練習や、解剖実習トレーニングシステムなどを取り入れ、高度な診療を習得することを支援する充実したプログラムを用意しています。